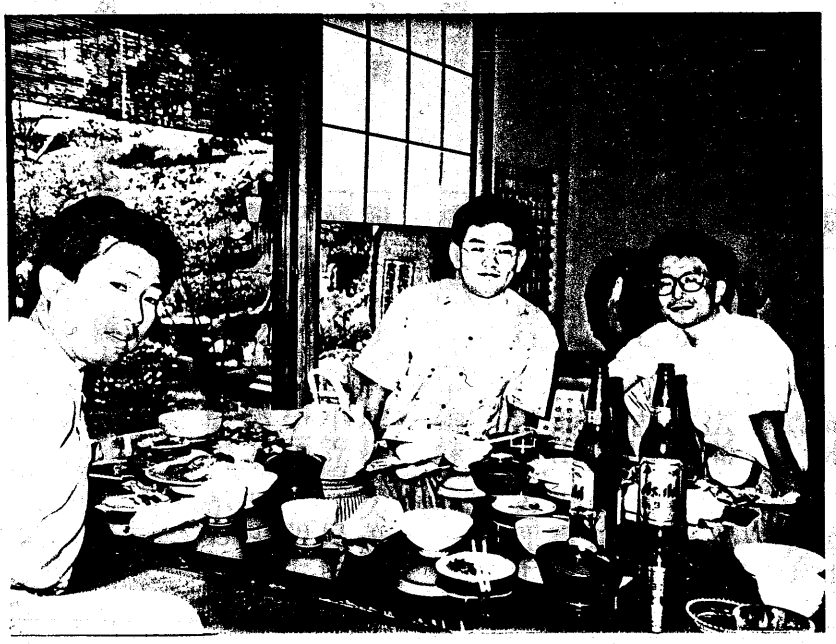
ＯＢだより

― 第28号 ―
京都外国語大学
能楽部　ＯＢ会



平成四年度ＯＢ総会　開催

去る八月九日（日）、京都市下京区の『大江戸』において平成四年度ＯＢ総会が開催されました。

橋本磯道先生御夫妻の他、十一名の会員の方々に出席いただきました。

会の冒頭に、平成三年度会計報告を行ない、承認を受けました。

その後、歓談に入り、涼しげに盛り合わされたお料理とお酒を囲みながら、新旧の思い出に花を咲かせ、しばし交流を深めました。

（平成四年度ＯＢ総会　幹事　西田　典子）



第二十九回外大能　番組決定

第二十九回外大能が、来たる十二月五日（土）正午より、京都市上京区の河村能楽堂で開催されます。

当日の番組が決定しましたので、部長挨拶とともに曲目ならびに演者をお知らせいたします。

（御挨拶）



小林部長

初冬の候となりました。

ＯＢ会の皆様方におかれましては、益々、御清栄のことと存じます。

今年、平成四年度の部長をつとめております小林俊太です。

さて、本年も八名の新入生（二回生二名、一回生六名）を迎え、第二十九回外大能を開催する運びとなりました。昨年、創部三十周年という大きな節目を迎え、さらなるクラブの発展を目指して部員一同一年間頑張ってまいりました。多くの問題をそれぞれ抱えながらも、現在、十九名の部員ひとりひとりが、外大能の成功という共通の目標に向かって日々、練習を重ねております。

諸先輩方におかれましては誠に御多忙中とは存じ上げますが、当日には、是非とも御来場頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

【曲目・演者】

能楽　「経　正」　シテ　真喜志　尚子
　　「菊慈童」　シテ　杉村　直美
舞囃子　「熊　野」　村雨留　田上　早恵子
　　「野　守」　小林　俊太
仕舞　（二回生）
　　「箙」　樋口　広之
　　「田村」キリ　伊藤　こずえ
　　「松風」　雪吉　美貴
　　「杜若」キリ　木本　久美代
　　「花筐」狂　甲斐　規子
　　「天鼓」　渕本　桂
　　「放下僧」小唄　野路　大介
　　「融」　岡本　幸子
　　「玉之段」　森　麻衣子
　　（一回生）
　　「胡蝶」　広瀬　充代
　　「羽衣」キリ　林　千寿
　　「松虫」クセ　吉川　美穂
　　「玉鬘」　漆原　智恵子
　　「花月」キリ　池田　憲生
　　「蝉丸」道行　鎌田　真理子
素謡　「橋弁慶」「土蜘蛛」
ＯＢ仕舞　「龍田」キリ　塚越　久美子
　　「清経」キリ　小笠原　昌代
　　「三輪」クセ　伊藤　朋子
　　「雲林院」クセ　勝又　和弘
　　「笹之段」　飯田　かおり
番外仕舞　「鉄輪」　橋本　磯道　先生

新入会員紹介

〔平成三年度　卒業生〕

飯田かおり　（スペイン語学科卒）
石毛　純子　（フランス語学科卒）
岩本　美砂　（英米語学科卒）
久保　奈弓　（英米語学科卒）
塚越久美子　（英米語学科卒）
中尾　良子　（フランス語学科卒）
宮田　紀江　（英米語学科卒）

＊新しくＯＢ会に入られた七名の皆さんの自己紹介です。



飯田　かおり

ＯＢ会の一員に加えていただきます、飯田でございます。よろしくお願いいたします。

現在は大阪の印刷会社に勤務し、営業を担当しています。担当地区は大阪市内から豊岡方面までと幅広く、毎日歩き回るお蔭で、すっかり丈夫になってしまいました。学生のとき、身体が弱くまわりに迷惑をかけていたことを考えると、自分でも信じられない程です。

さて、私の学生時代の思い出といえばやはり能楽部に始まり、能楽部に終わったという感じです。苦しいことも結構多かったはずなのですが、今思い返すと楽しかったことばかりが思い出されます。能楽というものに初めて出会って、毎日が発見の連続でした。また同じ目標を持つ仲間、友人もたくさん得ることができました。友人と能のことや、悩んでいることなどを話し合ったり、大きな声では言えませんが、時々一緒に授業を休んでお能を観に行ったり京都の街やお寺なんかを歩いたりしていました。本来の学業の方は少々おろそかになりがちでしたが、授業では得られないこともいろいろわかりました。

私の大学四年間は、本当にクラブ活動にあけくれていました。去年、最後の舞台を勤めさせていただいてから、もうまもなく一年がたちますが、あの時の緊張感、充実感、感動は、昨日のことのように思い出せます。最近は仕事が忙しく、なかなかお能やクラブに接する時間がありませんが、後輩のみなさんがクラブ活動を通して、素晴らしいものを手に入れられよう、心より願っています。



石毛純子

新しくＯＢとなりました石毛純子です。どうぞよろしくお願い致します。

今、私はまだ外大の四回生に属しており、毎日学校に通っています。クラブの活動は終えましたが、授業は毎日あり、その他のお稽古ごとも多く、日々忙しく暮らしています。習い事は、お茶、お花、フラワーアレンジメント、インド舞踊です。

最近、教えて下さっているインド舞踊の先生の公演を観て、エネルギッシュなパワーに圧倒されてしまいました。私ももっとパワフルに生きなくてはと心に決めた次第です。

さて来年の就職ですが、無事決まり、大阪に勤めることになりました。以前住んでいた神戸の家に住むことになり、そこから通勤します。会社はブライダルの会社で、結婚式場の案内やハネムーンの紹介を行ないます。大阪に近い方は是非、御利用下さいませ。お安くしたいと思っております。

大学生活も残すところあと半年となり、学生時代にしかできない最後のことを……と思い、ホノルルマラソンに出場することを考えました。私の心の中では、昨年来の計画だったのですが、親の猛反対と近づく卒論の不安で、結局今年は断念することにしました。でも私は一生のうち、絶対に一度は参加しようと心に決めています。

参加が決まった際には、是非、またお知らせ致したく思います。



岩本美砂

クラブでの四年間は、私の生き方を大きく変えました。〝勉強をした〟とは決して言えませんが、色々なことを感じたような気がします。自分と他の人との価値観の違いに戸惑ったりもしました。

私にとって、大学生（厳密に言えば執行部）から〝現在〟、今につながる時代なのです。器用だとは誰からも言われないでしょうが、大切にしたいことを追い続けています。

お能の型、軌道、必要最小限でありながら無限の広がりをもっている動き、など……。お能の中でいろいろなものを発見できたように思います。

能楽部を引退しても、当然お能は観ていこう、観ないなんて考えもしていませんでした。ところが、土、日が休みでない職場となると、実際、能会に行くことが本当にできなくなりました。たまたま、休みの日に会が催されていても、身の回りの最優先の雑事に時間をとられ、最近、能楽堂から足が遠のいています。学生の頃と同じ京都にいるのに、と寂しい気がします。

本当に豊かな生活を提供したい、と京都生活共同組合に勤めて、はや半年。まだまだ思ったようには仕事はできません。そんな時には、クラブ時代の同回生に電話をします。会える日には極力、予定を空けておくようにもします。違った立場から意見が聴け、また日常の雑務がしばし忘れられるひとときです。また、能楽を通して出会えた多くの先生方や、ＯＢの皆様、たくさんの仲間達にも同じ気持ちを抱いています。

卒業までお世話になり、本当にありがとうございました。そしてこれからも、どうぞおつきあいを宜しくお願い申し上げます。



久保奈弓

現在、龍谷大学文学部の聴講生をしております。早朝のアルバイトの後、大学に行き、講義を受けるか、図書館に行くか、の毎日です。就職せず、又、聴講生というのは学生ではないので、一体何をしているのだと思われるでしょうが、実は自分でも身分を把握できていません。フリーアルバイターになるのでしょうか。下宿先も四回生の九月に移ってから同じなので、生活自体は何ら変わりありません。ただクラブ活動がなくなっただけのような気がします。

クラブから離れて、どれだけクラブ活動に悩まされていたかがわかります。舞台曲の稽古に入ると、「どう表現しようか」「稽古の時間がない」と、又、運営面では一年を通して仕事や人間関係のために落ち着く時がなく……。現役時代はこのような悩みがあったからこそ、部員に感謝の気持ちがあり舞台後の充実感もひとしおでした。

就職していない私は仕事に追われることも、人間関係に悩むこともありません。言ってしまえば毎日気楽に生きています。文字通り楽ですが、就職した

同回生から職場の話を聞くと、クラブ活動で泣いたり、笑ったりしたことが懐かしく、今の楽な生活がとても心地悪くなります。私生活においてあまり悩みのない私は、新しくＯＢとなり、クラブとどうつき合っていくか、ＯＢの立場について悩むことから始めようかと思います。エネルギーが必要でしょうが、四年間で得た求悩がその原動力となるでしょう

どうぞよろしくお願いいたします。



塚越　久美子

今年の三月に卒業し、新しくＯＢ会の仲間入りをさせていただくことになりました。年月が経つのは本当に早いものです。入部したての頃がついこの間のことのように思います。

どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、現在の私の生活についてですが、三月より英会話学校のＥＣＣに勤務しています。大学時代、クラブを熱心にやり過ぎて（!?･･）･･･今、〝英語恐怖症〟という重い病気と闘いながら頑張っています。主な仕事は入学案内、成績管理、そしてカウンセリングです。新しく英会話を始めたい、と言って来られる方に目的に応じてコースを推薦します。カウンセラーの立場でアドバイスをするのですが、逆に「私も負けてなんかいられない！」と励みになります。失敗なども多々ありますが、メゲずに何とかやっています。

それでも能楽部で過ごした日々を、どうしようもなく懐かしく思う時があります。「あーあ。あの頃はよかったなあ。」などとぼやいてしまいます。

しかし六月のＯＢ交歓会で、橋本磯道先生の〝今の自分の生活がきちんとあってこそ、昔もよかったなあ、と思うことができる。〟というお言葉がとても印象的で、感銘を受けました。

これからは自分に与えられた仕事をひとつひとつきちんとこなしながら、アルバムなどを見て楽しかった思い出にひたったり、お謡やお笛のお稽古をしたり、お能を観に行ったりする時間を大切にしたいと思っています。

大学時代に〝能楽〟という素晴らしいものに接することができ、本当によかったと思います。後輩達の努力の結晶である『外大能』にこれからはＯＢとして、餞（はなむけ）の出演が出来れば、これほど嬉しいことはありません。

〝我らが能楽部よ。永遠なれ！〟



中尾　良子

京阪電車にて

〝京都出町柳行き特急が発車いたします〟
トゥルルルルル――――

電車は地下から地上へ
左手には満々と水をたたえる淀川
右手には林立するビル群
この光に誘われ、この地にきて、間もなく
三年という月日が流れようとしている。
あっという間であったようで
あっという間でなかったような

念願かなって上洛してはきたものの
何をどうしたらいいのか
迷ってばかりで
時には　得体の知れない恐怖で
胸を締めつけられたり、
賑やかな筈の光が
たまらなく淋しいものにかんじられた。
そして、いつも最後には
後悔がつきまとった。

しかし、今、それらの日々が
私の人生において
とても有意義であったことがわかる。
決して後悔すべきものではないことも。

〝間もなく電車は七条に到着します〟

車窓から眺める京都タワーは
心を照らす、大きなろうそくのように
輝いていた。



宮田紀江

新ＯＢとなりました宮田紀江です。
どうぞよろしくお願いいたします。

早いものでクラブを離れ約一年になります。忙しく慌ただしい毎日の中で何気なく思い出されることといえば、やはりクラブを通しての印象深い出来事、そして出逢えた多くの人達のことのような気がします。また、社会人となった今、クラブを通じて得たことの大きさに改めて気付くことも多くなりました。

この四月からは考えていた以上に時間的な余裕、精神的なゆとり、というものを充分にとることができず、何となく時間を無駄にしている自分に反省する毎日ですが、ふと「お能が観たい」と京都へ出かける自分にとても充実したものを感じています。

学生時代はあまりにも身近すぎて、気付くことのできなかったお能の魅力、お能に対する興味、愛着心といったものが、今の私の生活に本当に豊かさを与えてくれているように思うのです。

お囃子に聞き入り、舞に目を凝らす……時間が深い所で静かに流れていく空間が、学生の頃以上に好きになりました。

これからも私はお能を観に行きます。その度に、自分の中に存在する能楽の、能楽部の偉大さに驚くことと思います。

自分が大切だと思えること、大切にしたいと思える人達、そういった貴重な存在との縁ある出逢い……それが私にとっての能楽部のように思う今日この頃です……。

編集だより

●木枯らしが吹き、少し肌寒い初冬……。今年もまた、『外大能』の季節がやってきました。

十二月五日、河村能舞台にてお会いできますことを楽しみにいたしております。

●平成四年度のＯＢ会員名簿をお届けします。記載内容について変更、誤りなどありましたら、お手数ですがお知らせ願います。

●平成四年度のＯＢ会費納入が、まだの方には、再度、振り込み用紙を同封いたしております。

よろしく、お願いいたします。

なお、行き違いの際には、お許し下さい。



次号のお知らせ

☆　平成五年度ＯＢ交歓会　開催
☆　ＯＢ北から南から　(3)
☆　クラブ近況だより
☆　平成五年度ＯＢ総会のお知らせ

『ＯＢだより』第二十九号は、次年7月1日発行予定です。